

## 別子銅山近代化産業遺産ガイドブック

平成30年6月10日(日) 10:00～11:30

元別子銅山文化遺産課長 坪井利一郎

新居浜南高等学校ユネスコ部 伊藤美紀

新居浜南高等学校ユネスコ部 田村美羽

### 1. はじめに

新居浜市発展の礎になった別子銅山の近代化産業遺産を教育資源ととらえて、19年間情報発信してきた新居浜南高等学校ユネスコ部が、別子銅山近代化産業遺産ガイドブックを高精度で新たに完成させました。高校生のレベルを超えたガイドブックは、デザイン会社の一室と間違いそうな中で制作されました。ふんだんに使われている写真を眺めているだけで現地に行った気分になります。ユネスコ部員とアドバイザーでその内容等について語っていきます。

まいん 1～まいん 2 3	旧別子・別子山	伊藤美紀
まいん 2 4～まいん 4 6	遠登志・東平	田村美羽
まいん 4 7～まいん 8 8	端出場・立川・山根・上原・新居浜・四阪島	坪井利一郎

### 2. ユネスコ部の活動

- H 1 1 年(1999) 情報科学部が学校紹介のホームページ作成  
NHK会長賞(第6回マイタウン・マップ・コンクール)
- H 1 4 年(2002) 環境大臣賞(第8回マイタウン・マップ・コンクール)  
文部大科学大臣奨励賞(NECマルチメディアアート大賞)
- H 1 8 年(2006) 別子銅山近代化産業遺産ガイドブック(旧)  
(南高等学校情報科学部・愛媛大学住居学研究室共同制作)
- H 1 9 年(2007) 経済産業大臣賞(第8回インターネット活用教育実践コンクール)  
文化振興貢献表彰(新居浜市制70周年記念)
- H 2 0 年(2008) 愛媛県知事表彰(優良青少年団体)
- H 2 1 年(2009) 準グランプリ(第1回観光甲子園)
- H 2 2 年(2010) ユネスコスクール認定
- H 2 3 年(2011) 情報科学部からユネスコ部へ改称
- H 2 4 年(2012) ユネスコ本部で別子銅山学習成果を発表(第2回ESD国際交流プログラム)  
奨励賞(社会技術革新学会)
- H 2 5 年(2013) 南海放送賞  
産業遺産パネル展「別子銅山」のガイド(大阪展)

- H 2 6 年(2014) 愛媛新聞賞  
産業遺産パネル展「別子銅山」のガイド(東京展)
- H 2 8 年(2016) 四国環境パートナーシップ表彰賞  
サステイナブルスクール認定  
台湾視察交流事業に参加  
アレックディクソン賞(ボランティア学習実践部門)  
インドネシアに派遣(第7回ESD国際交流プログラム)
- H 2 9 年(2017) 内閣府匿名担当大臣賞(未来をつくる若者・オブザイヤー)  
ESD奨励賞(新居浜ユネスコ協会・東予信用金庫・新居浜市教育委員会)  
えひめ地域づくりアワード・ユース2017最高優秀賞  
(公益財団法人えひめ地域政策研究センター)
- H 3 0 年(2002) 別子銅山近代化産業遺産ガイドブック(新・高精密版)

### 3. 新ガイドブックの構成

別子銅山全体図	2 ページ
別子銅山断面図	1 ページ
まえがき	1 ページ
SDGsについて	2 ページ
エリア紹介	2 ページ
まいん1～まいん88	176 ページ
別子銅山の略年表	2 ページ
別子銅山の偉人	3 ページ
あかがねクイズの答え	1 ページ
あとがき	2 ページ
参考文献	2 ページ
著作権について	1 ページ

### 4. ガイドブックの新旧比較

旧 (エリア別に列挙)

新 (通しで列挙)

#### 旧別子エリア

小足谷上り口・円通寺小足谷出張所跡  
小足谷醸造所跡  
小足谷接待館跡・採鉱課長宅跡  
小足谷収銅所跡  
小足谷小学校跡  
小足谷劇場跡

旧別子登り口  
小足谷醸造所  
採鉱課長宅・小足谷接待館  
小足谷小学校  
小足谷劇場

ダイヤモンド水  
高橋製錬所跡  
第一通洞  
東延  
大山積神社跡  
蘭塔場  
縁起の端  
歓喜・歓東坑  
牛車道  
  
大和間符  
銅山峰

ダイヤモンド水 (まいん7)  
高橋製錬所 (まいん6)  
第一通洞  
東延斜坑  
  
蘭塔場  
縁起の端  
歓喜坑・歓東坑  
牛車道  
大露頭  
大和間符  
銅山峰・峰地藏  
ツガザクラ

#### 別子山エリア

フォレスターハウス  
日浦通洞  
南光院本坊圓通寺  
筏津  
別子山ふるさと館

フォレスターハウス(まいん19)  
日浦通洞  
南光院・円通寺  
筏津坑  
別子山ふるさと館

#### 上部鉄道エリア

角石原  
千人塚  
唐谷三連橋  
切通し  
石ヶ山丈

角石原 (まいん18)

#### 東平エリア

遠登志橋  
坑水路会所  
東端索道中継所  
東平社宅街・辻坂社宅街

遠登志橋  
坑水路会所  
東端索道中継所  
東平社宅・辻坂社宅  
東平保育園  
東平娯楽場  
住友別子病院東平分院  
東平生協

第三変電所  
第三通洞

第三変電所 (まいん41)  
第三通洞 (まいん42)

索道場跡  
インクライン跡  
採鉱本部跡  
プラットホーム跡  
東平歴史資料館  
プール跡  
  
東平接待館跡  
東平小学校跡  
東平中学校跡  
一の森  
呉木社宅街・尾端社宅街

#### 端出場エリア

鹿森社宅街  
鹿森小学校跡  
マイントピア別子(端出場ゾーン)  
  
第四通洞  
打除鉄道・中尾トンネル  
大斜坑・粗鉱ビン  
泉寿亭  
端出場水力発電所  
石ヶ山大貯水池

#### 下部鉄道エリア

車屋トンネル・物言嶽トンネル  
黒石駅跡・檜尾川橋  
立川分店跡・眼鏡橋跡

#### 上部地区エリア

別子銅山記念館  
  
大山積神社  
山根グラウンド  
山根製錬所跡

東平貯鉱庫 (まいん33)  
東平選鉱場 (まいん34)  
東平索道基地  
インクライン (まいん32)  
採鉱本部 (まいん36)  
東平プラットホーム  
東平歴史資料館  
東平小学校プール  
まんぷ・かご電車  
東平接待館 (まいん43)  
東平小・中学校 (まいん44)  
  
一の森  
呉木社宅

鹿森社宅 (まいん49)  
市立角野小学校鹿森分校  
マイントピア別子  
観光坑道  
第四通洞・四通橋  
端出場鉄橋・端出場隧道  
大斜坑・粗鉱ビン  
泉寿亭  
端出場水力発電所

車屋隧道・物言嶽隧道  
黒石駅・檜尾川橋  
立川中宿・眼鏡橋

別子銅山記念館  
別子1号機関車・電気機関車  
四阪島モニュメント  
大山積神社  
山根グラウンド  
山根製錬所煙突

山根収銅所  
佛国山瑞応寺

広瀬歴史記念館  
旧広瀬邸

### 川西地区エリア

住友倶楽部  
山田社宅  
新居浜選鉱場・星越駅舎

住友化学株式会社愛媛工場歴史記念館  
惣開の碑

自彊舎・昭和通り(共存・共栄橋)  
新居浜口屋跡

### 四阪島エリア

四阪島大煙突  
GF転炉・カラミ電車  
友情人形ブルー  
海底ケーブル  
ミゼット消防車  
四阪島倶楽部跡  
四阪郵便局  
四阪島分院  
四阪島商店街跡  
中央倶楽部  
四阪島社宅  
頂上タンク  
四阪島小学校  
四阪島中学校  
プール・測候所跡

山根収銅所  
佛国山瑞応寺  
別子銅山遭難流亡者碑  
中国人俘虜殉難者慰霊之碑  
広瀬歴史記念館  
旧広瀬邸  
旧広瀬氏庭園

住友倶楽部  
山田社宅  
新居浜選鉱場  
星越駅舎・星越隧道  
住友化学株式会社愛媛工場歴史記念館  
惣開の記  
市立別子銅山記念図書館  
武徳殿  
昭和通り  
自彊舎  
新居浜口屋・登道  
新居浜港

GF転炉・カラミ電車 (まいん85)

海底ケーブル  
ミゼット消防車

四阪島小学校

四阪島大山積神社

日暮別邸

日暮別邸

新版では上部鉄道エリアは無掲載、四阪島エリアも大幅に削除している。東平エリアでは掲載順を変更している。

別子銅山を読む講座で学習

## 5. ガイドブックの変遷

- 平成12年(2000) 新世紀へのメッセージ 届け！ あかがねの心  
(南高等学校情報科学部制作)
- 平成16年(2004)2月 別子銅山近代化産業遺産ガイドブック  
(南高等学校情報科学部・愛媛大学住居学研究室共同制作)
- 平成23年(2011)3月 別子銅山・環境問題と闘った先人たちの知恵に学ぶ
- 平成24年(2012)3月 マインからマインドへ・別子銅山(ツアーブック)
- 平成29年(2017)3月 旧広瀬邸ガイドブック
- 平成30年(2018)3月 別子銅山近代化産業遺産ガイドブック(新・高精密版)

## 6. 別子銅山近代化産業遺産ガイドブックの特化

これまでの誤記を全面的に直し、文章も詳細に整理しました。別子銅山に関する学習の基  
本図書として必須のものとなりました。これで研究やレポートの参考文献としても使用可能  
となったと思います。

別子銅山を読む講座で学習したこと。今まで誰も書かなかった新しい情報。現地調査で  
欠落のデータも網羅。聞き取り調査、市民の記憶情報。新居浜南高等学校に在籍した部  
員の19年間にわたり蓄積してきた諸々の情報が詰まった本となりました。

最近の情報としては、広瀬氏庭園、日暮別邸移築、鷲尾勘解治顕彰の小公園などがあげ  
られます。

取り上げた別子銅山の近代化産業遺産には、SDGs(持続可能な開発目標)の当てはま  
る17のアイコンを付けています。

- まいん2 小足谷醸造所** 讃岐煉瓦のマーク印刻の煉瓦登場。 現地取材から  
(山内の刻印煉瓦には、日本煉瓦株、山陽煉瓦株、西讃煉瓦、  
堺煉瓦、大阪煉瓦、三津浜煉瓦などが見つかっている。)
- まいん6 高橋製錬所** 洋式製錬所の一時中断理由は、世界的な銅価格の下落から。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん7 ダイヤモンド水** ボウリング調査は400mまで実施。従来のいろいろな記述を  
訂正する。 別子銅山を読む講座で学習

- エコバイオトイレも掲載 現地調査から。
- まいん10 蘭塔婆** 従来の間違いを全面的に書き直す。元禄7年の大火で亡くなった132人の集合墓所ではなく、その時には円通寺の観音堂が設けられていた。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん12 歓喜坑・歓東坑** 別子開坑は神話で彩られていた。坑口の四ツ留の形は上に化粧木を乗せて鳥居としている。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん14 大露頭** 初めての項目出し。
- まいん16 銅山峰・峰地藏** 銅山峰の標高1324mを記載する。峰の解説、峠の境界性説明もする。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん17 ツガザクラ** 初めての項目出し。  
高知県でツガザクラの自生が発見されたので、「銅山峰のツガザクラは日本の南限」を削除する。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん18 角石原** 上部鉄道も関連として説明する。石ヶ山丈の標高835mを記載する。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん20 日浦通洞** 日浦～第三の長さは、向かい走りを挟んで3990m。端出場水力発電所への用水路トンネルは隣に掘った。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん22 筏津坑** エクロジャイトも説明する。
- まいん23 別子ふるさと館** 現在のクマガイソウの株数の300株は、電話で取材する。
- まいん24 遠登志橋・遠登志水力発電所** 遠登志橋の鋼材はドイツのブルバッハ製を説明する。遠登志水力発電所の説明もする。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん28 東平保育園** 初めての項目出し。
- まいん29 東平娯楽場** 初めての項目出し。
- まいん30 住友別子病院東平分院** 初めての項目出し。
- まいん31 東平生協** 初めての項目出し。
- まいん33 東平貯鉱庫** 初めての項目出し
- まいん34 東平選鉱場** 初めての項目出し  
手選鉱の写真は河野先生が買い求めた絵葉書で新たな写真。
- まいん40 マンプ・かご電車** 初めての項目出し  
呉木マンブの中央には病院の貯氷庫があった。  
鉱山で働いていた人からの情報

- まいん48 観光坑道** 初めての項目出し。
- まいん52 端出場鉄橋・端出場隧道** 国の登録有形文化財に登録した名称の「端出場鉄橋」と「端出場隧道」にする。  
トンネルの数値を入れる。  
現地調査から。
- まいん55 端出場水力発電所** 発電用の水は日浦通洞、第三通洞の隣にトンネルを掘って通した。  
別子銅山記念館の特別展での説明から
- まいん56 車屋隧道・物言嶽隧道** トンネルの数値を入れる  
現地調査から。
- まいん58 立川中宿・眼鏡橋** 立川経由で新居浜口屋へ至る輸送路の開設は、新居浜口屋開設の元禄15年と推計していた点を元禄16年10月と正す。 別子銅山を読む講座で学習
- まいん60 別子1号機関車・電気機関車** 初めての項目出し。
- まいん61 四阪島モニュメント** 初めての項目出し。 新しい動き。  
大正13年完成の大煙突の高さを64.2mと正す。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん62 大山積神社** 大三島から旧別子に勧請した時期を元禄7年の別子大火災の後と正す。  
別子銅山を読む講座で学習
- まいん67 別子銅山遭難流亡者碑** 初めての項目出し。  
別子大水害の様子のはりばは河野先生が買い求めた「明治32年諸国災害図会」の中の挿絵
- まいん68 中国人俘虜難者慰霊之碑** 初めての項目出し。  
法要の写真は初めて出てくる。  
学習調査から。
- まいん71 旧広瀬氏庭園** 初めての項目出し  
公園の設置は大阪レベルの文化度がわかる。  
新しい動き、学習から。
- まいん75 星越駅舎・星越隧道** トンネルの数値を入れる。  
現地調査から
- まいん78 市立別子銅山記念図書館** 初めての項目出し。
- まいん79 武徳殿** 初めての項目出し。
- まいん80 昭和通り** 初めての項目出し。  
昭和通りに架かる橋は4橋。昭和橋、申孝橋、共存橋、共栄橋。
- まいん81 自彊舎** 鷺尾勘解治の顕彰小公園として整備する。

新しい動き。

**まいん82 新居浜口屋・登道** 銅山越えから立川中宿を経由する新居浜道の開通を元禄16年10月と正す。 別子銅山を読む講座で学習

「口屋あかがね」の松のクローン松の生育を掲載する。

**まいん83 新居浜港** 初めての項目出し。

**まいん88 日暮別邸** 四阪島から新居浜に移築する。

新しい動き。

## 7. おわりに

高校生の学習だからとこれまで甘く見られていた誤記を全面的に直しました。ユネスコ部の19年間の総まとめとして文章も細かく整理しました。日本の近代化の歴史を物語る別子銅山を学習するにあたっての必読書になりました。さらに、内容の充実で参考文献として引用されても使用可能となりました。

末尾に参考文献として65点掲載していますが、紙面の関係で本当に主たる文献のみの掲載となりました。原稿の全面見直しでは700点を超える図書・資料をベースにして作業を進めました。

写真も現地写真だけでなく、記録写真もふんだんに掲載しており、ラーニングランド新居浜への臨場感も堪能できるテキストにもなりました。高校生のレベルを超えて一般図書として扱われてもおかしくはありません。

